

龍郷町 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

文部科学省が示している「令和 7 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針及び学校の ICT 環境整備 3 か年計画」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められている。具体的には、一人一台端末の導入により、児童生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた個別指導を推進する。また主体的・対話的で深い学びを実現し、協働的な学びを通じて、コミュニケーション能力や問題解決能力の育成を図り、予測困難な時代を生き抜くために必要とされる資質・能力を養う。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のためには、ICT 環境は必要不可欠な学習基盤である。本町教育行政の重点施策「夢や希望をもち、未来を切り拓くための能力を伸ばしていく教育の推進」の中でも「教育の情報化の推進」を目指している。

このようなことから、児童生徒の資質・能力を育成し、未来を切り拓くための能力を伸ばしていくために、1 人 1 台端末の利活用を図っていききたい。

2 GIGA 第 1 期の総括

第 1 期の GIGA スクール構想として本町では、令和 2 年度に児童生徒、教職員に 1 人 1 台端末を整備してきた。また全校に高速通信ネットワークを整備し、Wi-Fi 環境の充実を図り GoogleWorkspace などクラウドの活用を推進してきた。

学習の質の向上では、デジタル教材や学習支援アプリの活用による個別最適な学びに取り組むことができた。また GoogleWorkspace や学習支援アプリを用いて、互いの考えを紹介したり、考えを整理・分類したりし、協働的な学びを進めている。その中で自分の考えを深化させたり、自他の考えの「よさ」に気付いたりする中で自己肯定感も向上させてきている。

さらに、1 人 1 台端末を用いて、写真や動画で学びを残すことで、児童生徒自らが、既習学習を生かしながら、新たな学習課題に取り組む姿も見られる。

教職員への支援としては、オンライン会議やクラウドを活用した業務改善を推進している。また、運営支援としては担当者がネットワーク関係等のトラブルに随時対応することができた。故障等の対応も代替機での対応ができています。

3 1 人 1 台端末の利活用方策

本町では、1 人 1 台端末の利活用を継続するため、端末の故障やバッテリーの寿命を考慮し、令和 7 年度に端末の更新を行う予定である。

AI ドリルや学習支援アプリを活用し、児童生徒の学習履歴や理解度のデータを活用し「個別最適な学び」の実現を加速させ、自ら課題を見つけ、その解決に取り組む児童生徒を育成していく。またクラウド上での共有ドキュメントやプレゼンテーションツールを活用して、編集や発表・交流を行うことで「協働的な学び」の充実を図っていく。

また 1 人 1 台端末を活用した心の健康観察や多様な学びの場の確保を図り、COCOLO プランの推進に努めていく。

これらの取組を推進していくことで、GIGA 第 1 期の成果に基づきながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の更なる充実を図っていく。